

京都嵯峨

KYOTO SAGA

芸術大学

UNIVERSITY OF ARTS

広報

PUBLIC RELATIONS

VOL.12

Contribution

大いなる飛躍を祈る ー芸術学部完成の年にー

京都嵯峨芸術大学学長 三好郁朗

MARCH 2005

News



第33回制作展を開催 卒業・修了制作展／進級制作展
各種施設の改修 学生ホールを改修／大学院用教室を設置
理事長改名のお知らせ
専任教職員人事
地域連携事業
収蔵資料の状況
懇親会と見学会の実施

Topics

在学生の活躍

卒業研究が「荒俣宏奨励賞」受賞

年賀状デザインで金賞を受賞

VISUAL VOICE 2005

教員の活躍

京都迎賓館に箱崎教授の作品

附属博物館

第7回企画展が終了

特別講座

マンガWORKSHOP

生涯学習講座

受講生による絵本展を開催

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」

観光デザインドローイング展／研究生展



Information

生涯学習講座

2005年度受講生を募集

森原キャンパス「有響館」開設記念事業

連続講座「京の美意識」

大学行事

2005年度入学式／オリエンテーション

附属博物館・附属ギャラリー

収蔵品による企画展を開催

専任教員展覧会情報



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

長く大学に勤めていると、卒業や入学も数ある年中行事のひとつになってしまい、学生諸君とご家族の感慨に思い及ばぬところがあるかもしれませんが、本学で過ごした2年、あるいは4年という歳月は、卒業生諸君にとり、周囲の方がたにとって、けっして短い時間ではなかったろうと思います。

喜び、悩み、悲しみ、さまざまな思いにみちた日々だったことでしょう。

人生には幾度か、いわばスプリング・ボードのような時期が訪れます。卒業というのはあくまで制度の枠組にすぎませんが、これを契機に大きく飛躍できるかどうか、それはみなさんそれぞれの思いの深さにかかっています。

あったわけですが、全国初の観光デザイン学科の開設など、独自のカリキュラムによる芸術教育をめざした日々は、いかに入念な準備を整えていたとはいえ、どうしても手探りの部分が残ったことは否めません。学生諸君にはなにかと迷惑をかけたかと思いますが、勉学意欲をそぐような手違いだけはなかったことを願っています。

いずれにせよ、学生諸君、保護者のみなさんの寛容と協力があったの4年間でした。心から感謝しています。

この4年はまた、私の学長としての任期の4年でもありました。歴代の学長をはじめ、多く

新館は、施設の狭隘を解消するだけでなく、地域に根ざした社会貢献をめざしつつある本学にとって、貴重な拠点になってくれるでしょう。狭く暗かったクラブボックスも、明るい学友会・クラブ棟に生まれ変わりました。さらに新年度には、学生ホールの整備、購買部の拡充、旧図書館跡の実習室への転用など、学内環境のさらなる改善が予定されています。

申し訳ないのは、こうした改善が卒業生諸君の間にあわず、不自由を我慢させてしまったことですが、四年制大学設置というエポック・メイキングな時代を学園で学んだ、いわばパイオニアとして、後に続く後輩たちのため、寛容の心で母校の発展を喜んでもらえればと思います。

本学は30年余の歴史において、まさに正統的な芸術教育の内容と方法を堅持してきました。そのことは、本学における教育理念の真摯さ、誠実さのあらわれだったと思いますが、一方で、他大学と比べてここが違うという独自性に欠けるうらみがあったかもしれません。

そこで4年前、これまでの短大教育を堅持しながら、新たに四年制大学を開き、本格的芸術教育を追求する造形学科に加えて、全国初の観光デザイン学科を創案するという一大冒険に取り組んだわけです。観光関連の学科を設置する大学は他にもありますし、国際観光都市京都で観光学に取り組む大学があっても当然というか、遅きに失したくらいです。

しかしながら、観光とデザインの結びつきとなると、それをどう具体化し、成果に結びつけるか、長い議論を重ねてきた学内でさえ、いまだに議論が再燃するくらいで、いわば手探りでこの4年をすごしてきたと言えなくもありません。



昨年度卒業・修了式風景

そうした営為の結果が芸術学部完成時点でもう出るか、卒業・修了制作展で観光デザイン学科の学生諸君の作品が大いに注目を集めました。

文化としての観光にかかわるさまざまな造形、観光産業のプランニングや社会学的研究のプレゼンテーション、観光に関連する商品のデザインなど、予想以上に多様な作品が並びました。その多様性は、「観光デザイン学」というアイデアの妥当性と可能性を示唆するものだと思います。観光デザイン学科の一期生諸君は私たちの期待以上に頑張ってくれたと思います。もちろん、造形学科、美術学科、専攻科の学生諸君も、多彩で、それぞれに個性的な作品を楽しませてくれました。

全国的に学生数の減少がつづくなか、本学はあくまで理想とする芸術教育を堅持し、小規模な大学の利点を生かして、学生諸君一人一人を大切にする運営を行ってきたつもりです。その努力が、卒業生諸君の社会における活躍によって大きく報われることを、心から楽しみにしています。

大いなる飛躍を祈る —芸術学部完成の年に—

三好郁朗 ●京都嵯峨芸術大学 学長

それにしても今年度の卒業式は、本学園にとって記念すべきものとなります。

平成13年の4月、京都嵯峨芸術大学芸術学部が新設され、同時に、30年の歴史を有し1万数千名に及ぶ卒業生を出してきた嵯峨美術短期大学も、京都嵯峨芸術大学短期大学部と改称、学園にとって新たな歴史が始まりました。

この4年、すでに実績のある短期大学部と、新たな教育目標を掲げた芸術学部との一体的運営を心がけてきましたが、その意味からも、今年から卒業式・入学式を合同で行うことにしました。

芸術学部新設の時点で本学には、すでに30年に及ぶ美術教育の経験と積み上げが

の教職員、卒業生のみなさんの協力が築き上げてきたものを、どうすれば守り、発展させられるか、微力ながらそのことを懸命に考えてきたつもりです。

芸術学部設立のために必要とされた校舎、研究室、多くの設備投資は、まさに学園の力量を問われる一大事業でしたが、新しいカリキュラムによる講義・実習とあわせて、ほぼ計画通り実行することができました。なにより、十分な数の学生諸君が本学の新しい教育理念を良しとして入学してくれたことは、多くの大学が学生数の不足に悩むなかで、まことにありがたいことでした。

特記すべきは嵯原キャンパスの獲得、有響館の完成でしょうか。

第 3 3 回制作展を開催

卒業・修了制作展

2005年2月9日(水)～2月13日(日)に京都市美術館を会場として、京都嵯峨芸術大学(芸術学部)ならびに同短期大学の卒業・修了制作展を開催しました。

多数の来場者で賑わった今展には、芸術学部一期生による卒業作品をはじめて出展しており、中でも観光デザイン学科や造形学科メディアアート分野の作品は、従来の卒業・修了制作展に新しい風を吹き込んで、観る者に新鮮な印象を与えました。

なお、開催初日に、優秀作品として各賞を選定(右の一覧表参照)。受賞者は、3月19日(土)の卒業・修了証書授与式に先立って行う授賞式で表彰されます。

進級制作展

同期間に、大学会場では、芸術学部2・3年生と短期大学部1年生の進級制作展を開催し、進級課題作品や瑞々しい感性が溢れ出る自主制作の作品が、各教室や屋外など大学全体を利用して展示されました。

また、昨年に引き続き、学生による実行委員会が中心となって展覧会全体のコーディネートを行い、「university ≒museum～アート化学(ばけがく)～」というテーマのもと、昨年竣工したばかりの萩原キャンパス有響館における作品展示をはじめ、学生運営のミュージアムショップなど、一段と充実した進級制作展になりました。



芸術学部					
学長賞	造形学科	日本画	4	中山裕紀子	秋庭戯嬰図
学長賞	観光デザイン学科		4	寺澤則行	Saganese Football
芸術学部賞	造形学科	彫刻	4	樫木幹也	なまえをください
芸術学部賞	観光デザイン学科		4	米山彰彦	van-ban-bamboo
大覚寺賞	造形学科	メディアアート	4	木下寛明	_Act
教育後援会奨励賞	造形学科	日本画	4	川上智子	音天
教育後援会奨励賞	造形学科	日本画	4	山元麻衣	閑・渺茫
教育後援会奨励賞	造形学科	油画	4	大友一世	/ori/
教育後援会奨励賞	造形学科	油画	4	長谷川一郎	セカイ
教育後援会奨励賞	造形学科	版画	4	清水麻里	花
教育後援会奨励賞	造形学科	メディアアート	4	岩崎宏美	feeling(s).ver2
教育後援会奨励賞	造形学科	彫刻	4	河野健一	とおく
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科		4	松川亜矢	子供の教育施設・ミュージアム商店街 ～夢のあるエンターテインメント空間～
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科		4	山口麻衣子	子供の読書活動推進のためのイベント企画
教育後援会奨励賞			4		『体験する絵本』～京田辺市と一休を事例として～
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科		4	池田美季	広島県加計町における可部線及び地域の再生
同窓会賞	造形学科	日本画	4	沼恵子	三友百禽図
同窓会賞	造形学科	油画	4	鈴木ひとみ	Joint
同窓会賞	造形学科	版画	4	山下洋介	小割製材 帯鋸目立
同窓会賞	造形学科	メディアアート	4	五十嵐亮介	Can you see oneself ?
同窓会賞	造形学科	彫刻	4	川東瑠美	Message
同窓会賞	観光デザイン学科		4	浅田太郎	琉球旅游
短期大学部					
学長賞	美術学科	染織	2	青山真子	カメレオンと琵琶
学長賞	美術学科	インテリアデザイン	2	上村綾	empty garden
美術学科賞	美術学科	日本画	2	打尾晴美	懐かしき彩
美術学科賞	美術学科	洋画	2	山内雅裕	緑の屋根
美術学科賞	美術学科	混合表現	2	角南有香	女子大生になったら恋人100人できるかな
美術学科賞	美術学科	陶芸	2	細越優香	Cake house " woodsy pinecorn "
美術学科賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	世本倫子	空想
美術学科賞	美術学科	イラストレーション	2	三尾あづち	Something I have not noticed .
美術学科賞	美術学科	生活デザイン	2	小西知絵	in・cet
大覚寺賞	専攻科	デザイン専攻	2	曾我郁代	どこえゆく？
大覚寺賞	美術学科	洋画	2	植田裕美子	落下しながら翔ぶように
大覚寺賞	専攻科	美術専攻	2	西脇由起	Birth
教育後援会奨励賞	専攻科	美術専攻	2	山林雅子	人体地図
教育後援会奨励賞	専攻科	美術専攻	2	伊達早苗	House Shape Box
教育後援会奨励賞	専攻科	デザイン専攻	2	川口玲奈	graffiti
教育後援会奨励賞	専攻科	デザイン専攻	2	久保早絵	原風景スケッチ
教育後援会奨励賞	美術学科	日本画	2	金子玲	石段
教育後援会奨励賞	美術学科	洋画	2	油田さや香	INDOOR
教育後援会奨励賞	美術学科	混合表現	2	下田ひかり	さよなら
教育後援会奨励賞	美術学科	陶芸	2	岡美希	チキンchick
教育後援会奨励賞	美術学科	染織	2	中川朋子	月の頃に
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	石野加奈子	Rosa's Gardenーローサの庭ー
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	下平絵	Drawing World
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	前田亜希	夢みる人形
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	吉永久美	ONE DAY
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション	2	清水美香	箱のなかの小さな幸せ
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション	2	西川恵	浜辺の思い出
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション	2	兵庫瑠美	Dream of Tree
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション	2	宮本志保美	メロンと鼻くそ
教育後援会奨励賞	美術学科	インテリアデザイン	2	米山知那	TieS ー高槻駅前 快活×開発 計画ー
教育後援会奨励賞	美術学科	インテリアデザイン	2	礪本理恵	Prism ; puzzle
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン	2	廣光有美	fragment
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン	2	北條真美	groun(d)share
同窓会賞	専攻科	美術専攻	1	前田万才子	無題
同窓会賞	専攻科	美術専攻	2	永田佳織	岐路
同窓会賞	専攻科	デザイン専攻	2	遠藤愛実	踊らにゃ そんそん 阿波踊り
同窓会賞	美術学科	日本画	2	野田佳与子	游
同窓会賞	美術学科	洋画	2	武田祐子	a Life / a ISM .
同窓会賞	美術学科	陶芸	2	阿安真美	蓮玉
同窓会賞	美術学科	染織	2	東美嘉	あの子の部屋
同窓会賞	美術学科	グラフィックデザイン	2	中野渡有美	呼吸
同窓会賞	美術学科	イラストレーション	2	岩西真由美	I am a baker ー私はパン屋さんー
同窓会賞	美術学科	インテリアデザイン	2	吉岡利奈	「京丹後市は、府庁から変わります。」
同窓会賞	美術学科	生活デザイン	2	梅影悠	曲面 ～ natural curved surface ～

各種施設の改修

学生ホールを改修

1978年2月に竣工し、主に学友会・クラブBOXとして使用していた学生ホールを、今般、学友会・クラブ棟が完成したことにより、学生の憩いの場として改修することになりました。

新しい学生ホールは、旧ホールの約3倍の広さにし、管理棟地下1階の購買部も売り場面積を拡張して移設。また、ホールにはピクチャーレールを設備して、壁面を利用した作品展示が可能となる予定です。現在工事を進めており、3月中旬に完成、新年度からの利用開始を予定しています。

大学院用教室を設置

2005年4月の京都嵯峨芸術大学大学院(芸術研究科芸術専攻、二年制修士課程、入学定員8名)の開設にともない、講堂棟2階の旧図書館跡スペースに、コンピュータルーム(52.6m²)と共同演習室2室(98.3m²、55.1m²)を設置しました。

コンピュータは、大学院生一名につき1台配付し、研究レポートや修士論文作成等に使用されることになります。なお、図書館跡スペースの残りは、当面フリースペースとなります。

理事長改名のお知らせ

学校法人大覚寺学園の理事長である坂口博之が、このたび名を博翁(はくおう)と改めたことをお知らせいたします。

専任教職員人事

多年に亘り、本学園における教育・研究活動の発展に寄与いただいた先生方が、2005年3月末日をもって退職されます。

2004年度定年退職者／芸術学部教員	
造形学科	渡邊典子教授
2004年度退職者／短期大学部教員	
美術学科	西村美香専任講師

なお、渡邊教授は、2005年度特別任用教授として、4月以降も引き続き学生の指導にあたってくださいます。

地域連携事業

近隣の京都市立嵐山小学校から依頼を受けて、2005年2月1日(火)に本学短期大学部から教員2名が同校へ赴き、保護者対象の「家庭教育学級」で制作指導を行いました。

同校のふれあいホールにおいて実施されたこの「家庭教育学級」では、原毛を使ってフェルトをつくることから始め、ポシェットや携帯電話ストラップに加工する体験をしていただきました。

参加した保護者23名からは、指導した奈良平宣子教授(生活デザイン)らの細やかなレクチャーとともに体験内容についても大変な好評を得ることができました。

小学校の児童たちに陶芸指導などを行ってきたこれまでの地域連携事業とはまた一味違った試みになりましたが、本学は今後もさまざまな交流を通して地域に貢献していきたいと考えています。



収蔵資料の状況

2004年度に、下記の貴重な品々の寄贈を受けました。(附属博物館)

◎貿易扇
徳田武男氏より約1,366点の貿易扇、扇面を寄贈していただきました。

◎郷土玩具、日本画等
奥村氏より以下の資料を寄贈していただきました。

郷土玩具「うし(土物)」1点
絵画(日本画)「雛画(土佐光孝)」、「若菜摘(伊藤小坡)」各1点
木版刷り絵葉書(アルバム)1点
郷土玩具関係書籍4点

◎嵯峨面
藤原孚石氏より嵯峨面「お多福」「徳吸」「天狗」「愛宕火伏面」「百寿面」「羽黒天狗面」を寄贈していただきました。



懇親会と見学会の開催

第33回制作展の最終日、2005年2月13日(日)に、本学と京都市美術館において教育後援会の懇親会ならびに制作展見学会を開催しました。高家昌昭教育後援会副会長、三好郁朗学長の挨拶の後、金氏脩介制作展委員長から制作展の概評、北村正己学生部長から就職関係の説明があり、昼食をとりながらのコース別の懇親後、美術館へご案内しました。芸術学部1期生の卒業制作発表ということもあり、150名余りのご参加をいただきました。

在学生の活躍

卒業研究が「荒俣宏奨励賞」受賞

芸術学部観光デザイン学科4回生の河野隼也さんの卒業研究「魔界遺産－魔都京都の文化財－」が、角川書店・世界妖怪協会公認季刊誌「怪」主催のコンペ“怪大賞”において、「荒俣宏奨励賞」を受賞されました。

妖怪・怪異を志向した研究や創作(小説・評論・漫画・音楽・映像・造形物等)を全国から広く募集していた同コンペで受賞を果たした作品は、季刊「怪」に掲載し、好評ならば単行本化もありうるということです。

年賀状デザインで金賞を受賞

関西圏の芸術系大学在学生を対象とした年賀状コンテスト「勝手に年賀状大賞2005」(アイングラフィックス株式会社主催)において、短期大学部美術学科混合表現標準コース2回生の河合未登里さんの作品が金賞を受賞されました。

また、芸術学部観光デザイン学科3回生の中前絵美さんが銀賞を、同学部造形学科日本画分野1回生の大源麻友さんが手書き大変だったで賞をそれぞれ受賞されました。

VISUAL VOICE 2005

短期大学部専攻科デザイン専攻の在学生と同学部美術学科グラフィックデザイン標準コースの卒業生によるアドバタイジング研究グループが、2005年3月6日(日)～3月13日(日)に京都市中京区の新風館3階ギャラリーで「笑い」をテーマとした展覧会を開催しました。新風館というアミューズメントスポットにおいて、イベントを含むさまざまな形のビジュアルコミュニケーションを展開し、好評を博しました。

教員の活躍

京都迎賓館に箱崎教授の作品

現在、建設中の国立京都迎賓館(仮称)を彩る、箱崎睦昌教授(芸術学部造形学科)意匠の綴織がこのほど完成し、関係者に披露されました。京都山系を表徴する景色として、市内から仰ぐ比叡山と、本学付近から桂川越しに臨む愛宕山を題材に描いた2面の綴織は、同迎賓館内の大会議室に、それぞれ東西の方角をあわせて設置されました。



「比叡月映」



「愛宕夕照」

附属博物館

第7回企画展が終了

本学附属博物館の第7回企画展「嵯峨からの発信」が、2005年1月10日(月)に終了しました。2004年10月16日(土)からの会期中、総入場者数は約1,500名にのぼり、企画内容から地元の方々に多数来館していただきました。

生涯学習講座

受講生による絵本展を開催

生涯学習講座・絵本講座の受講生7名による作品展を、2005年1月14日(金)～1月22日(土)に有響館2Fの学生情報フロアで開催しました。

特別講座

マンガWORKSHOP

2005年度新入生から短期大学部美術学科デザイン分野で「マンガ」の実習科目が履修できるようになります。これを記念して2005年2月15日(火)～17日(木)に在学生対象の実践ワークショップを実施しました。

現役漫画家である佐藤晴美氏、竜巻竜二氏(両名とも本学卒業生)、竹中らん子氏を講師に迎え、構想から原稿制作までをレクチャーしていただきました。



附属ギャラリー「アートのスペース 嵯峨」

観光デザイン ドローイング展

2005年1月18日(火)から22日(土)まで、観光デザイン学科生が芸術関連科目「造形表現演習」で制作したドローイング作品の展覧会を開催しました。

研究生展

2005年2月16日(水)から25日(金)まで、本学附属芸術文化研究所に在籍する研究生15名による作品展を開催しました。

短期大学部専攻科を修了したのち、同研究所において創作へのさらなる研究を続けてきた研究生たちの一年間にわたる研究成果が、さまざまな深化を伴う表現方法によって発表されました。



INTERNATIONAL

■生涯学習講座

2005年度受講生を募集

本学がこれまでの教育・研究活動で蓄積してきた知識や技術を、地域の方々へもご提供できるようにと開設した「生涯学習講座」も、今春で3期目を迎えます。

新年度は、日本画や洋画などの実技講座を中心に、外国語や各種文化講座、そして新たに水墨画や白黒写真など、全26講座をご用意しました。

また、毎年ご好評をいただいている夏期恒例「小学生夏休み講座」に加え、小学校低学年の児童を対象とした「子供造形教室」を新たに開設し、子供たちが大学でアートに触れられる機会をさらに増やしました。

現在、講座の詳細から申込方法までを記載した総合パンフレット(FAX専用申込シート付き)を、ご希望の方に無料でお送りしています。下記「生涯学習講座係」までご請求下さい。

自然に囲まれ、古刹や名所旧跡の点在する京都・嵯峨野の地で、新しい可能性を見つけてみませんか。

〔資料請求〕

〒616-8362

京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL 075-864-7898(直)

FAX 075-882-7770(直)

gakujutsu@kyoto-saga.ac.jp

※2005年3月14日(月)より受講の受付を開始します。定員は先着順とさせていただきますので、ご了承願います。※小学生夏休み講座の受付期間は、2005年7月4日(月)～7月13日(水)です。

2005年度講座一覧

講座名	期間等	概要	講師
日本画(写生)	4/16～5/28毎週土曜日(4/30を除く全6回)13時～16時	初めて日本画を学ぶ人の講座です。写生の基本を学び、後半の制作に結び付けます。	林潤一(芸術学部教授)
日本画(小品制作)	6/4～7/16毎週土曜日(6/18を除く全6回)13時～16時	日本画(写生)を受講した人、または制作に必要な日本画用具が整っている人が対象です。	林潤一(芸術学部教授)
日本画(制作A)	5/7～7/30毎週土曜日(6/18を除く全12回)	モチーフを見つけ写生し、絵画表現へと繋げ制作します。ものを見て描く喜びを発見します。	清水豊(本学非常勤講師)
日本画(制作B)	9/24,10/8・15・29,11/12・19・26,12/10・17,1/14・21,2/4(土曜日)(全12回)13時～16時	対象を深く観察し、日本画特有の材料、技法、思考を学び独自の表現世界を創り出します。	北村正己(短期大学部助教授)
洋画基礎	4/23・30, 5/7・21, 6/4, 7/2・16・30, 9/3・17(土曜日)(全10回)13時～16時	鉛筆、水彩絵具、油絵具の使い方を学び、個性を大切に描く楽しさを体験します。	坂田芳孝(本学非常勤講師)
洋画	5/14・28, 6/11・25, 7/9・23, 8/20・27, 9/10・24,10/8・22, 11/12・26, 12/10(土曜日)(全15回)13時～16時	デッサンや色彩表現を学びながら、油画を描く楽しさを静物、人物、風景を通じ味わいます。	伊庭新太郎(05年度より大学院教授) 蛭田均(本学非常勤講師)
陶芸	5/7～6/4毎週土曜日(全5回)13時～16時	「ろくろ技法」により茶碗や小鉢の制作を行います。鉄絵具・呉須絵具で絵付けもします。	佐藤巧(本学非常勤講師)
彫刻	5/7～6/11毎週土曜日(全6回)13時～16時	木の枝や板を使い、オリジナル時計や極小のティーテーブル等を作りましょう。	渡邊典子(芸術学部教授) 多田千明(本学非常勤講師)
木版画	5/14～7/23毎週土曜日(6/18を除く全10回)13時～16時	木版画技法を学び作品を創る喜びを発見します。グリーティングカードにも活用できます。	西真(短期大学部名誉教授)
織をたのしむ	9/12～11/14毎週月曜日(9/19, 10/10を除く全8回)13時～16時	簡単な織機(はた)を作り、デザインして自分だけのコースターやマフラーを織ります。	吉水絹代(短期大学部教授)
絵本	6/11～10/1毎週土曜日(6/18, 8/6・13・20を除く全13回)13時～16時	ストーリーから原画・製本まで、自分しか作れない絵本作りを楽しみましょう。	伊勢信子(短期大学部名誉教授) 田中早智子(本学非常勤講師)
水墨画	5/9～3/6毎月第1月曜日(全10回)(但し,5月は第2月曜,1月は第3月曜)15時30分～17時	線による形態の簡化要約、墨の濃淡潤滑などを学びながら、古人の蹟を尋ねます。	山本六郎(本学非常勤講師)
白黒写真－撮影から現像・プリントまで	5/7・21, 6/4・11, 7/2・16・30(土曜日)(全7回)13時～16時	デジタルカメラ全盛の今こそ写真の原点に戻り、銀塩カメラで白黒写真を楽しみましょう。	宇佐美宏(本学非常勤講師)
デジタルビデオ編集基礎	5/7～6/11毎週土曜日(全6回)13時～16時	撮影した映像をパソコンに取り込み、編集してショート・ムービーを完成させます。(iMovie使用)	倉山裕昭(短期大学部専任講師)
おもしろコンピュータグラフィックス	9/13・14・15・16(全4回)13時～16時	フォトショップやフリーのソフトウェアを使い、コンピュータならではの作品を作ります。(Mac使用)	三宅章介(芸術学部教授)
英会話初級Ⅰ	4/16～5/28毎週土曜日(4/30を除く全6回)13時～14時30分	英語を再入門したい方や会話を楽しみたい方対象です。英語圏の文化的特徴も交えます。	マイケル・リッフル(本学非常勤講師)
英会話初級Ⅱ	6/4～7/16毎週土曜日(6/18を除く全6回)13時～14時30分	英会話初級Ⅰの続編です。Ⅰからの受講も可能です。リスニングのコツ等を学びましょう。	マイケル・リッフル(本学非常勤講師)
英会話初・中級Ⅰ	9/24～11/5毎週土曜日(10/1を除く全6回)13時～14時30分	音の基本練習や最新学習法により、映画の英語を聞き取り、よく使われる表現を学びます。	佐野仁志(短期大学部助教授)
英会話初・中級Ⅱ	11/12～12/17毎週土曜日(全6回)13時～14時30分	映画を楽しみながら生きた英語を身につけます。発音練習を繰り返し自分のものにします。	佐野仁志(短期大学部助教授)
フランス語会話Ⅰ(初級～中級)	5/7～6/11毎週土曜日(全6回)13時～14時30分	初級から中級程度の会話を学びながら、フランスの文化にも触れていきます。	末次エリザベート(本学非常勤講師)
フランス語会話Ⅱ(初級～中級)	6/25～7/30毎週土曜日(全6回)13時～14時30分	Ⅰに引き続き、初級から中級程度の会話を学びながら、フランスの文化にも触れていきます。	末次エリザベート(本学非常勤講師)
フランス文化	5/7・14・21, 6/4・25, 7/9・23, 9/10・24, 10/8(土曜日)(全10回)13時～14時30分	文学、シャンソン、祭等について学びます。愛知万博にちなんでパリ万博の話も入れました。	三好郁朗(学長)大竹仁子(短期大学部教授)稲垣直樹(京都大学大学院教授)松島征(京都大学名誉教授)
古代大和にみる芸術文化の原像	5/14～3/11毎月第2土曜日(全10回)(但し,2月は第3月曜)13時～15時	謎を秘める古代大和の眺めの中で、飛鳥から幻の藤原京をめざす道を秦氏のいる山背国へと辿ります。	深田進(本学芸術学部教授)
フィットネス	4/23～7/2毎週土曜日(6/18を除く全10回)13時～14時30分	ゆっくり、やさしく、楽しく身体を動かしてみませんか? 健やかで美しい身体を目指します。	中森洋子(短期大学部教授)大西健(大阪フオーグダンス連盟会長)中川ヒカサ(元京都市社会体育指導員)
子供造形教室(小学1～3年対象)	4/16・30, 5/14・28, 6/11・25, 7/9・23(土曜日)(全8回)13時～16時	日常の廃品を使い、夢のある作品を完成します。力を合わせて1つのものを作る連帯感も得ます。	北村正己(短期大学部助教授)
小学生夏休み講座 テーマ「動く造形」	8/5・6・7(全3回)13時～16時	日用品や廃品を使った立体工作の面白さを体験します。1・2年「モビールを作ろう」3・4年「風車を作ろう」5・6年「フライングバードを作ろう」	有岡保行(短期大学部教授)金氏脩介(芸術学部教授)平松國和(芸術学部教授)北村正己(短期大学部助教授)

※別途、登録料¥3,000が必要です(3年間有効・更新料¥1,000)。 ※講座によっては、お持ちでない画材や用具等を購入していただく必要があります。

■ 森原キャンパス「有響館」開設記念事業

連続講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として長い歴史を刻んできた京都には、独特の知恵や美意識が存在します。

一方、近年の科学技術の発展は、社会に急速な情報化や国際化をもたらし、私たちはその激しい波に巻き込まれています。

そのような現代において、京都に伝わる知恵や美意識をもう一度じっくり鑑賞したり、体験したり、現代との違いを比較・検討することで、私たちの生活を見直すきっかけにしたいと考え、連続講座を企画しました。

この連続講座では、著名な講師による“京の美意識”が毎回さまざまなテーマで展開します。月に1度の土曜昼下がり、嵯峨野で京都について学んでみませんか。

参加方法について等、詳しくは企画広報課までお問合せください。

TEL075 864 7859 FAX075 882 7770
kikaku@kyoto-saga.ac.jp

[連続講座スケジュール]		※2005年2月現在確定分
第5回『京の祝事』	2005年3月26日(土)	講師／源田善朗氏〈元・源田紙業株式会社社長〉
第6回『京の着物』	2005年4月23日(土)	講師／羽田登氏〈京友禅作家〉
第7回『京の笑』	2005年5月21日(土)	講師／茂山あきら氏〈大蔵流狂言師〉
第8回『京の舞』	2005年6月25日(土)	講師／藤間勘祐氏〈舞踊家〉
第9回『京の木の仕事』	2005年10月15日(土)	講師／村山明氏〈漆芸家 重要無形文化財保持者〉
第10回『京の菓子』	2005年11月26日(土)	講師／高家昌昭氏〈京菓子(株)塩芳軒代表取締役〉
第11回『京の表具』	2005年12月10日(土)	講師／岡岩太郎氏〈(株)岡墨光堂代表取締役〉
第12回『京の生け花』	2006年1月21日(土)	講師／来田仙甫氏〈嵯峨御流華道総司所相談役〉
第13回『京の芸能』	2006年2月25日(土)	講師／金剛永勤氏〈金剛流宗家・能楽師〉
第14回『京の祭り』	2006年3月25日(土)	講師／川塚錦造氏〈菊花鉢保存会副理事長〉

■ 附属博物館・附属ギャラリー

収蔵品による企画展を開催

第8回企画展「佐和隆研氏とオリッサの美」／「川端彌之助の世界」

附属博物館と附属ギャラリーの2会場で、本学収蔵品による企画展を開催します。

附属博物館では、昨年度の「草原の国モンゴルの造形」に引き続き、“異文化を知る”をテーマとして、本学の前身である嵯峨美術短期大学の二代目学長、佐和隆研氏(1911～1983)寄贈によるインド東部・オリッサ地方の絵画、染織品、玩具、仏頭等を展示します。オリッサ独自の文化の中で培われてきた豊かな造形美にご注目ください。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」では、嵯峨美術短期大学の元教授で洋画家の川端彌之助氏(1893～1981)の油画32点を展示します。

会期…2005年4月1日(金)～6月30日(木)

ギャラリーは5月6日(金)まで

時間…10:00～18:00(最終日17:00迄)

休館…毎月曜日(祝日の場合は翌火曜)

お問合せ…TEL075 864 7852(博物館)

museum@kyoto-saga.ac.jp

■ 専任教員 展覧会情報

3/28～4/9 個展
4/12～4/24 第32回春季創画展
4/12～4/24 関西二科展
4/13～6/5 「やきもの新感覚シリーズ」特別展
5/12～5/18 日本新工芸展
6/1～6/6 第8回NEXT展

ガレリア・フィナルテ(名古屋)
京都市美術館
京都市美術館
中部国際空港センターピアガーデン
上野の森美術館(東京)
京都高島屋グランドホール
日野田崇〈陶芸〉
土手朋英 他〈日本画〉
瀧澤賢福〈混合表現〉
日野田崇〈陶芸〉
辻信夫 吉水絹代〈染織〉
箱崎睦昌 林潤一〈日本画〉

※会期、展覧会名、会場、出品者の順に記載。なお、内容は変更される場合がございますのでご了承ください。※非常勤教職員等の情報は本学のWebサイトをご覧ください。

■ 大学行事

2005年度入学式

京都嵯峨芸術大学大学院ならびに京都嵯峨芸術大学、京都嵯峨芸術大学短期大学の合同入学式を、下記のとおり執り行います。

なお、式典終了後には保護者懇談会を開催します。

日時…2005年4月4日(月)10:00～

会場…講堂(講堂棟4階)

■ 大学行事

2005年度オリエンテーション

新入生は一日も早く本学に慣れるように、在学生には進級する毎に必要な情報を、新年度のオリエンテーション期間に提供します。以下はその予定表です。

◎在学生向けオリエンテーション

3/28(月) 芸術学部3年次編入生
履修・進路ガイダンス

3/29(火) 全学部成績配布
～30(水)

3/31(木) 芸術学部2～4年生各種履修ガイダンス
短期大学部2年生履修ガイダンス
4/1(金) 全学部履修登録締切
定期健康診断
短期大学部2年生進路ガイダンス

◎新入生向けオリエンテーション

3/18(金) 大学院履修ガイダンス

4/4(月) 全学部入学式 保護者懇談会
美術学科オリエンテーション

4/5(火) 全学部カリキュラム・履修ガイダンス
4/6(水) 全学部入権講演会

学生部・図書館ガイダンス
短期大学部履修ガイダンス
芸術学部学芸員課程履修ガイダンス

4/7(木) 全学部履修登録

社会教育講座
学友会主催歓迎会

4/8(金) 新入生定期健康診断
大覚寺見学会

京都嵯峨芸術大学広報

第12号

2005年3月19日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行●学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL075 864 7859

FAX075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷●大光印刷株式会社